

日交研シリーズ A-616

平成 25 年度研究プロジェクト

モータリゼーションの動向と道路空間の有効利用

刊行：2015 年 1 月

モータリゼーションの動向と道路空間の有効利用

The Trend of Motorization, and Effective Use of Road Space

主査：高田 邦道（日本大学名誉教授）

Kunimichi Takada

要 旨

一般社団法人日本自動車工業会二輪車部会から「バス専用・優先通行帯における二輪車の通行方法が県によってまちまちであるので統一できないだろうか」という相談から本研究は出発した。2012 年度（日交研シリーズ A-581）は、二輪車のバス専用通行帯通行の交通現象解析を行い、「二輪車のバス専用通行帯通行の対応策」を提案したところである。しかし、二輪車とバスだけでなく、原付、自転車の走行空間の在り方も同時に検討の必要があり、さらに、近年のモータリゼーションの動向は大きく変わってきており、多様な多様交通機械の誕生にいかに対応すべきかについても合わせて検討する必要があると考えた。

本報告は、モータリゼーションのこれからの動向を議論し、今後の多車種化、自動化、および環境対応化の中での道路空間の有効利用のための施策はどうあるべきかを、また従来からの交通管理や運輸管理がどうあるべきかについて事例的、部分的に議論した結果を取りまとめたものである。第 1 章「序論」、第 2 章「モータリゼーションの動向」、第 3 章「道路空間について」、第 4 章「バス専用通行帯について」、第 5 章「バス専用通行帯における二輪車走行方式の改善による道路空間の有効利用の評価」、第 6 章「道路空間活用のための自動二輪車の路上実態の分析」、第 7 章「歩行者空間とバリアフリー空間の確保」、第 8 章「まとめ」、で構成されている。

キーワード：モータリゼーション、道路空間の有効利用、二輪車、バス専用通行帯

Keywords : Motorization, Effective Use of Road Space, Motorbikes, Buslanes